

2022.  
**6.25** [土]  
 13:00-15:30  
 ワークショップ・特産品販売  
 10:00-16:00

とっとり日本遺産ネットワーク会議設立記念

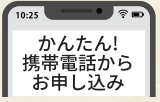
# とっとり日本遺産フォーラム

「とっとり日本遺産の魅力～その壱『六根清浄と六感治癒』とは」

「日本遺産」とは地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーについて文化庁が認定しているものです。本フォーラムでは、鳥取県内ではじめて認定を受けた日本遺産「六根清浄と六感治癒の地～日本一危ない国宝鑑賞と世界屈指のラドン泉～」を通して、日本遺産の魅力と楽しみ方を紹介します。

**会場** 三朝町総合文化ホール  
 (鳥取県東伯郡三朝町大瀬999-2)

**定員** 先着200名 **事前申込制・参加無料**



※QRコードを読み込み、必要事項を入力して送信してください。  
 ※この他の申込方法はチラシ裏面をご覧ください。



フォーラム参加者には **日本遺産構成文化財体験券 (三朝温泉たまわりの湯無料入浴券) をプレゼント!**

**フォーラム内容**  
 鳥取県指定無形民俗文化財  
 [オープニングアクト] 13:10-13:30 **さいとりさし** (三朝町さいとりさし踊り保存会)  
 [講演] 13:30-13:50 **日本遺産とその魅力** (丁野 朗氏)  
 [パネルディスカッション] 14:00-15:30 **「六根清浄と六感治癒」の魅力**を語る  
 (出演者はチラシ裏面)

講演「日本遺産とその魅力」



「講師」  
 丁野 朗氏  
 ちやうの あきら  
 公益財団法人日本観光振興協会総合研究所顧問  
 元東洋大学大学院国際観光学部客員教授

**プロフィール**  
 マーケティング及び環境政策のシンクタンクを経て、1989年に(財)余暇開発センター入所。2002年に(財)社会経済生産性本部に移籍。「ハッピーマンデー(祝日の月曜日指定)制度」の提唱、産業観光などの地域活性化事業に携わる。2008年、(社)日本観光協会(現(公社)日本観光振興協会)に移籍。常務理事、総合調査研究所長を務める。文化庁、経済産業省などの政府各省庁の委員や高知県、広島県呉市、京都府舞鶴市など、地方公共団体の観光アドバイザーなどを務める。2020年度、永年にわたり、文化観光の分野で日本文化の継承と発展に尽力、わが国の文化遺産に貢献していることが認められ、文化庁長官表彰を受賞。

**ワークショップ・特産品販売**  
 10:00-16:00

**事前申込不要**

- ・VRゴーグルによる日本遺産体験
- ・缶バッジづくり
- ・ペーパークラフトづくり
- ・だいせん地蔵づくり
- ・獅子頭作り&獅子舞体験

企画がいっぱい!!  
 楽しみ方を紹介する  
 とっとり日本遺産の魅力や





とっとり日本遺産フォーラム パネルディスカッション

# 「六根清浄と六感治癒」の魅力語る

コメンテーター 丁野 朗氏(公益社団法人日本観光振興協会総合研究所顧問)  
 コーディネーター 木村 みゆき氏(鳥取県観光戦略課観光誘客ディレクター)  
 パネリスト 藤井 紀好氏(三朝町観光交流課 課長)  
 沖田 雅浩氏(三朝温泉旅館協同組合理事長)  
 藤原 彰二氏(三朝小学校 校長)  
 アラン・マリー氏(三朝町国際交流員)

とっとり日本遺産  
認定ストーリー紹介



## 認定ストーリー⑫

### 六根清浄と六感治癒の地 ～日本一危ない国宝鑑賞と世界屈指のラドン泉～

三徳山は、山岳修験の場としての急峻な地形と神仏習合の特異の意匠・構造を持つ建築とが織りなす独特の景観を有しており、その人を寄せ付けぬ厳しさは1000年にわたって畏怖の念を持って守られてきた。

参拝の前に心身を清める場所として三徳山参詣の拠点となった「三朝温泉」は、三徳山参詣の折に白狼により示され、発見されたとの伝説が残り、温泉発見から900年を経て、なお三徳山信仰と深くつながっている。今日、三徳山参詣は、断崖絶壁での参拝により「六根(眼、耳、鼻、舌、身、意)」を清め、湯治により「六感(観、聴、香、味、触、心)」を癒すという、ユニークな世界を具現化している。



## 認定ストーリー③③

### 地蔵信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市

大山の山頂に現れた万物を救う地蔵菩薩への信仰は、平安時代末以降、牛馬のご加護を願う人々を大山寺に集めた。江戸時代には、大山寺に庇護され信仰に裏打ちされた全国唯一の「大山牛馬市」が隆盛を極め、明治時代には日本最大の牛馬市へと発展した。西国諸国からの参詣者や牛馬の往来で賑わった大山道沿いには、今も往時を偲ぶ石畳道や宿場の町並み、所子集落に代表される農村景観、「大山おこわ」など独特の食文化、大山の水にまつわる「もひとり神事」などの行事、風習が残されている。ここには、人々が日々「大山さんのおかげ」と感謝の念を捧げながら大山を仰ぎ見る暮らしが息づいている。



## 認定ストーリー③⑨

### 荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船主集落～

日本海や瀬戸内海沿岸には、山を風景の一部に取り込む港町が点々とみられる。そこには、港に通じる小路が随所に走り、通りには広大な商家や豪壮な船主屋敷が建っている。また、社寺には奉納された船の絵馬や模型が残り、京など遠方に起源がある祭礼が行われ、節回しの似た民謡が唄われている。これらの港町は、荒波を越え、動く総合商社として巨万の富を生み、各地に繁栄をもたらした北前船の寄港地・船主集落で、時を重ねて彩られた異空間として今も人々を惹きつけてやまない。



## 認定ストーリー⑦⑧

### 日本海の風が生んだ絶景と秘境

#### 一幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞う大地「因幡・但馬」

日本海から吹きつける季節風が削り上げた日本最大級の鳥取砂丘。目に見えぬ風の姿がさざ波模様の風紋に映し出され、海岸を進むと風が起こす荒波に削り出された奇岩が連なる。鳥取砂丘の砂を生み出す中国山地へと急流を辿ると、風がもたらす豪雪に育まれた杉林の背に豪邸が佇む。さらに源流へと分け入ると岩窟の中に古堂が姿を現す。これらは日本海の風が生んだ絶景と秘境である。人々は、厳しい風の季節での無事とそれを乗り越えた感謝の胸に、古来より幸せを呼ぶ麒麟獅子を舞い続け、麒麟に出会う旅人にも幸せを分け与えている。

## 【フォーラム申込方法】

- ①QRコードを読み込み、必要事項を入力して送信郵便番号、住所、氏名、連絡先を明記し、
  - ②はがき 〒682-8505 倉吉市上井町1丁目156  
日本海新聞中部本社ビジネス支援課  
「とっとり日本遺産フォーラム」係
  - ③FAX 0858-26-8310
  - ④メール k-jigy@nnn.co.jp
- のいずれかの方法でお送りください

ワークショップ、特産品販売に来られる方は事前の申込は必要ありません

